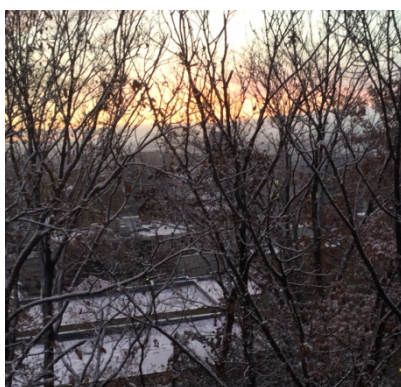
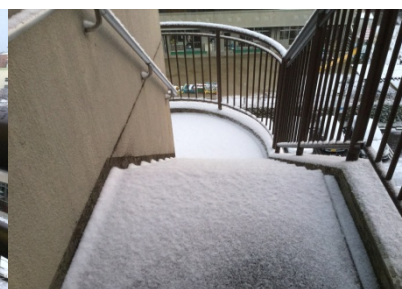
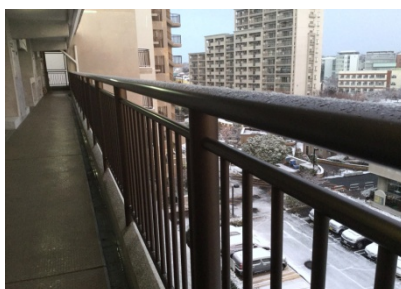


雪の正月風景

今年の正月はとにかく寒い。写真は正月2日の凍てつく早朝に撮ったものだ。元旦は曇り空で撮れなかったが、雪景色のなかに東の空から日が昇り始めていた。写真上右は自宅ベランダ下の雪で覆われた木々である。なかなか風情がある。下の2枚は自宅前の階段付近である。いつもと違った雪景色であり、つい写真に収めたくなくなった。



この星ヶ丘のURに住んで20年近くが経つ。古くからの公団住宅を建て替えたもので、いまは超高層から高層・中層まで多くの住宅が並んでいる。



地下鉄駅に近く、自宅前には市立保育園もあり、平日は子供たちの声が聞こえる。高齢化したニュータウンとは違い、若い世帯も多く居住している。このところ目立つのが空家であり、自宅のある6階も多く、そのぶん静かである。東の空を遠慮せず写真に収めることができるのも、この空家のおかげでもある。

名古屋に就職してからの「住居遍歴」を書いてみよう。最初は東山動植物園に近く、平和公園に向かう道路沿いにあるアパートに入居した。確か1月下旬に就職が決まって、池下の不動産屋で探して決めた。「新池ビル」という変わった名前の「賃貸アパート」である。古いながらも気に入ったのは、南向きベランダから動植物園の緑が見え、北の窓からは平和公園の緑が眺められたからだ。アパートすぐ前に「新池」があり、いつも散歩した。すこし足を延ばして、平和公園南の自然を味わったものだ。このあたりが幻の名古屋オリンピックの会場候補地となったことも忘れられない。

「新池ビル」はあまりにも古いので、そこから歩いて10分近くの「ライオンズマンション」に移った。こちらは賃貸でなく、中古マンションである。当時、私もバブルの影響を受け「持家」に憧れていたかもしれない。これが間違いであった。災害にみまわれ、マンション管理にも悩まされた。そして上の住人の火事騒ぎと続き、ついに「大損」を覚悟で引っ越しを決めた。その引っ越し先が、現在のURである。

(2015年1月3日)